

プレミアグループ株式会社

東証プライム 7199

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年7月26日



- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

※決算説明動画はIRサイト (<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/movie.html>) にて配信しております。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

2025年3月期 第1四半期 ハイライト①



- クレジット債権残高、故障保証残高の**積み上げ**により営業収益は前年比**+19.9%**
- 主要3事業の**営業利益率の向上**により営業利益は**+33.6%**
- 将来収益（繰延収益）も前年比**+20%超の積み増し**。引き続き**将来収益**を安定的にBSにストック（**557億円**）

業績

(グラフ単位：億円)

営業収益

前年比
+19.9%

86.7

72.3

24/3.1Q

25/3.1Q

営業利益

前年比
+33.6%

18.2

13.6

24/3.1Q

25/3.1Q

税引前利益

前年比
+33.3%

18.8

14.1

24/3.1Q

25/3.1Q

将来収益（繰延収益）

全体

557億円

前年比 **+20.2%**

ファイナンス

474億円

前年比 **+20.2%**

故障保証

75億円

前年比 **+18.2%**

ソフトプランナー事業・
カーププレミアクラブ会費繰延

7億円

前年比 **+47.7%**

- 新車市場は型式指定の認証不正の影響を受け前年割れ。中古車市場は横ばいで推移
- クレジット取扱高は前期1Q好調の反動があるも成長継続
- 故障保証取扱高は自社商品であるカーププレミアム故障保証の好調もあり、前年比2桁で伸長

マーケット※

(グラフ単位：万台)

新車販売台数

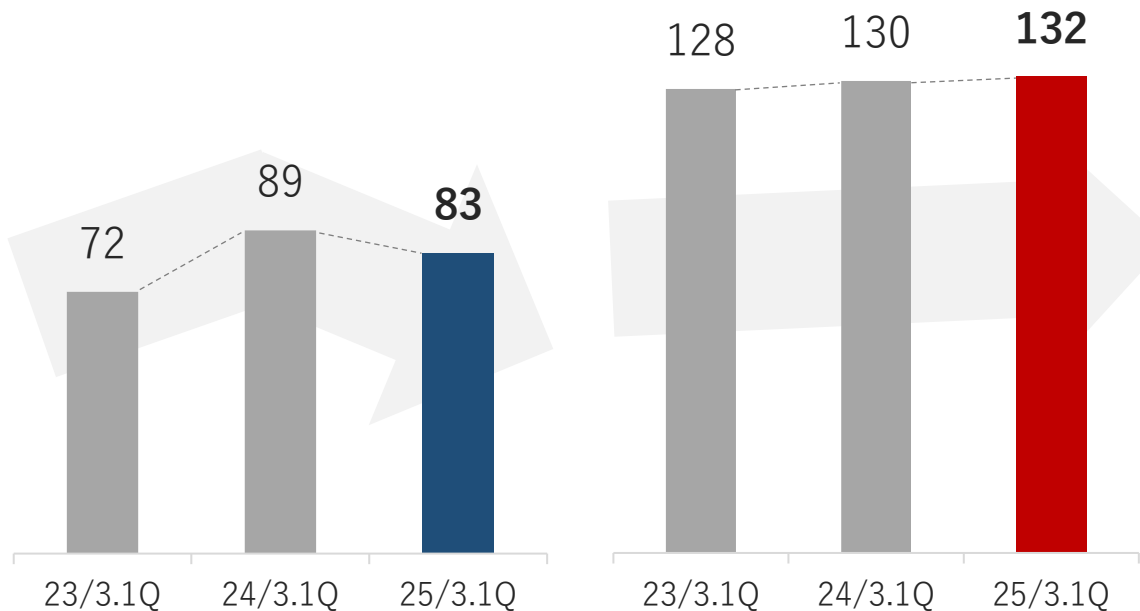
前年比

▲6.9%

中古車登録台数

前年比

+0.9%



KPI

(グラフ単位：億円)

クレジット取扱高

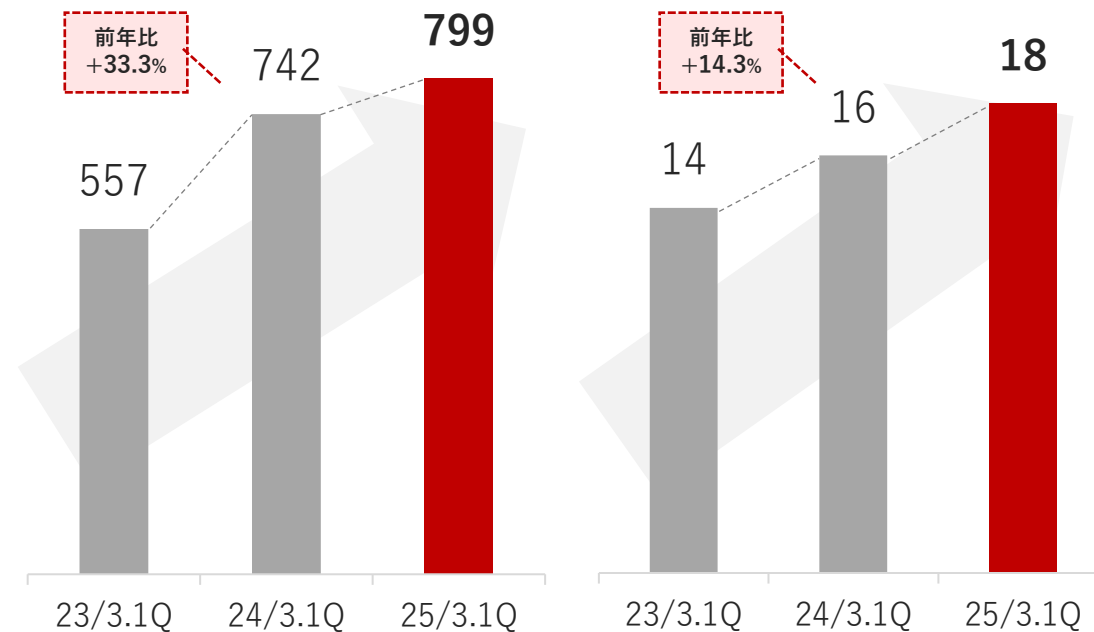
前年比

+7.7%

故障保証取扱高

前年比

+12.5%



(※) 軽自動車を含めた台数を記載しております。出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会 統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会 統計データ

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

連結業績

(単位：百万円)

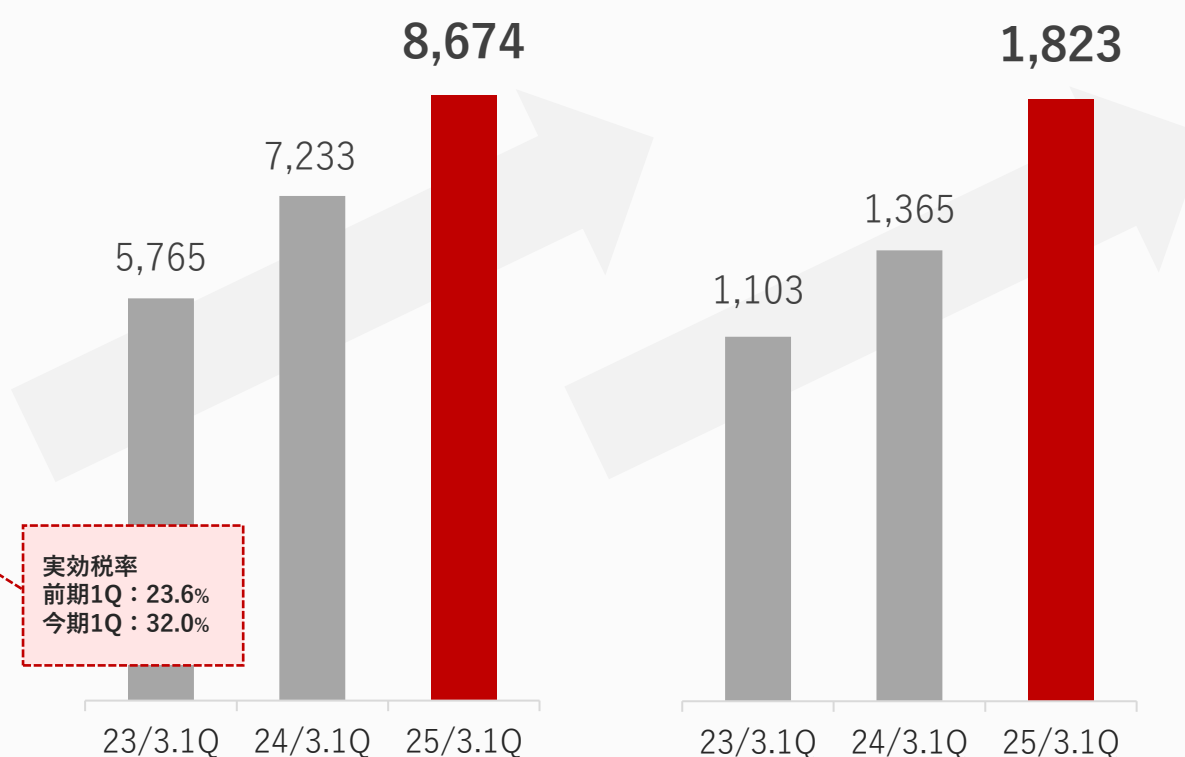


- クレジット債権残高、故障保証残高の**積み上げ**により営業収益は前年比**+19.9%**の**86.7億円**
- 営業利益は前年比**+33.6%**の**18.2億円**、**税引前利益**は前年比**+33.3%**の**18.8億円**

	24/3.1Q	25/3.1Q	前年比
営業収益	7,233	8,674	+19.9%
営業費用	5,868	6,852	+16.8%
営業利益	1,365	1,823	+33.6%
税引前利益	1,408	1,876	+33.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,072	1,274	+18.9%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	27.56	33.62	+22.0%

営業収益

営業利益



(注) 2023年3月期の営業収益はIFRS第17号の適用により一部遡及しております。

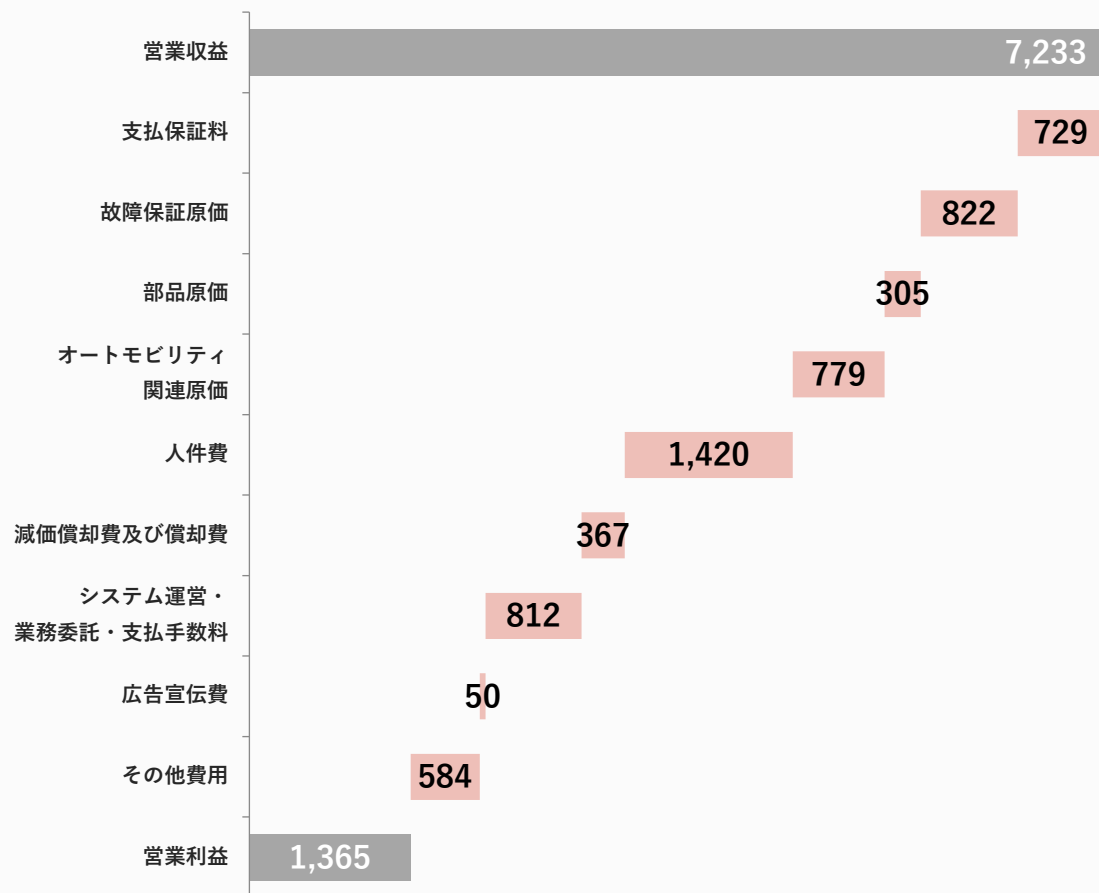
営業費用（内訳）の推移

(単位：百万円)

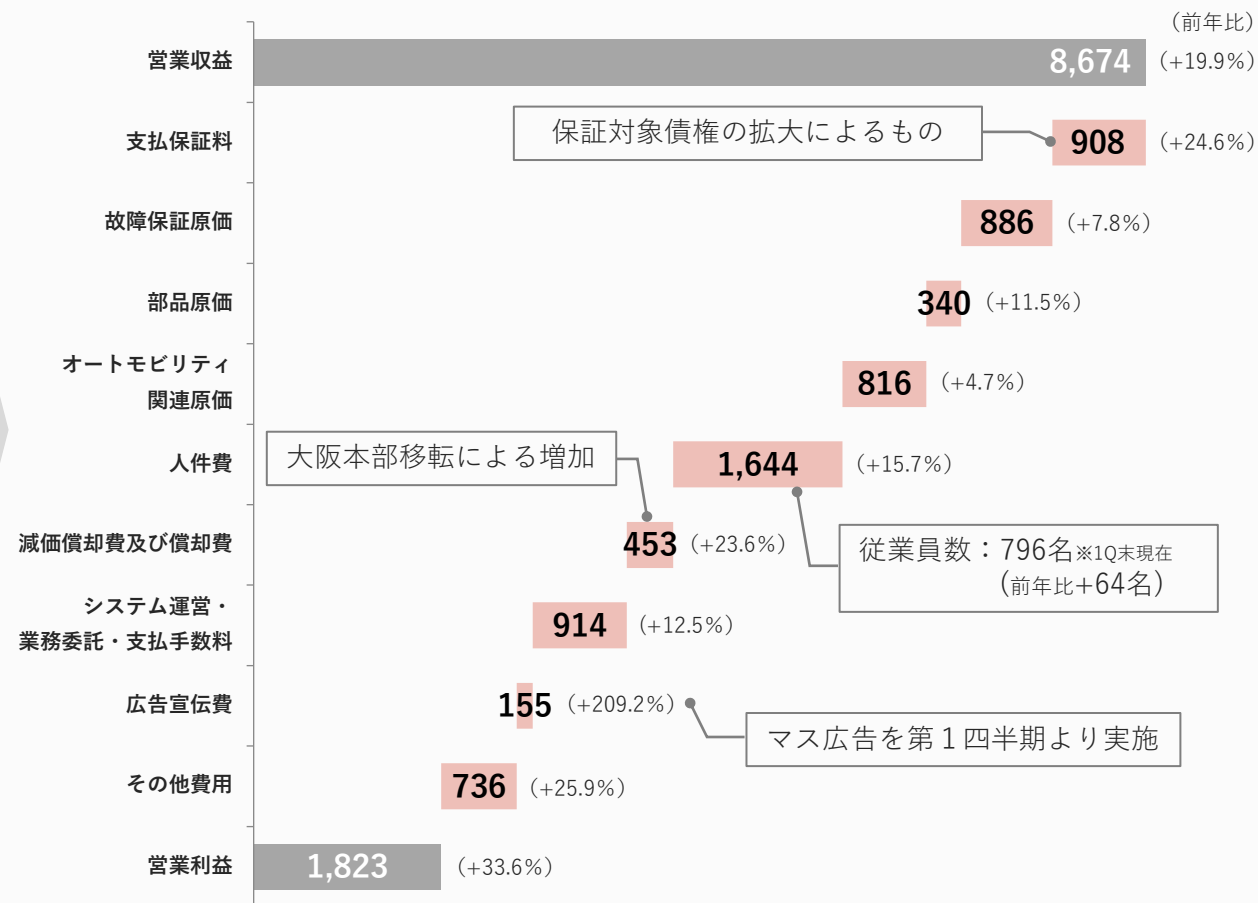


- 事業拡大に伴う費用の増加を抑え、営業収益の前年比+19.9%に対し営業費用の前年比は+16.8%と低い水準で推移
- 他社水準を上回るベースアップを実施しつつも、人的資本ROI※は継続的に上昇傾向（＝生産性の向上）

24/3.1Q 営業費用
5,868百万円



25/3.1Q 営業費用
6,852百万円 (前年比 +16.8%)



(注) 速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。
 (※) 人的資本ROIは、一人当たりの税引前利益から一人当たりの総投資額を除いて算出しております。

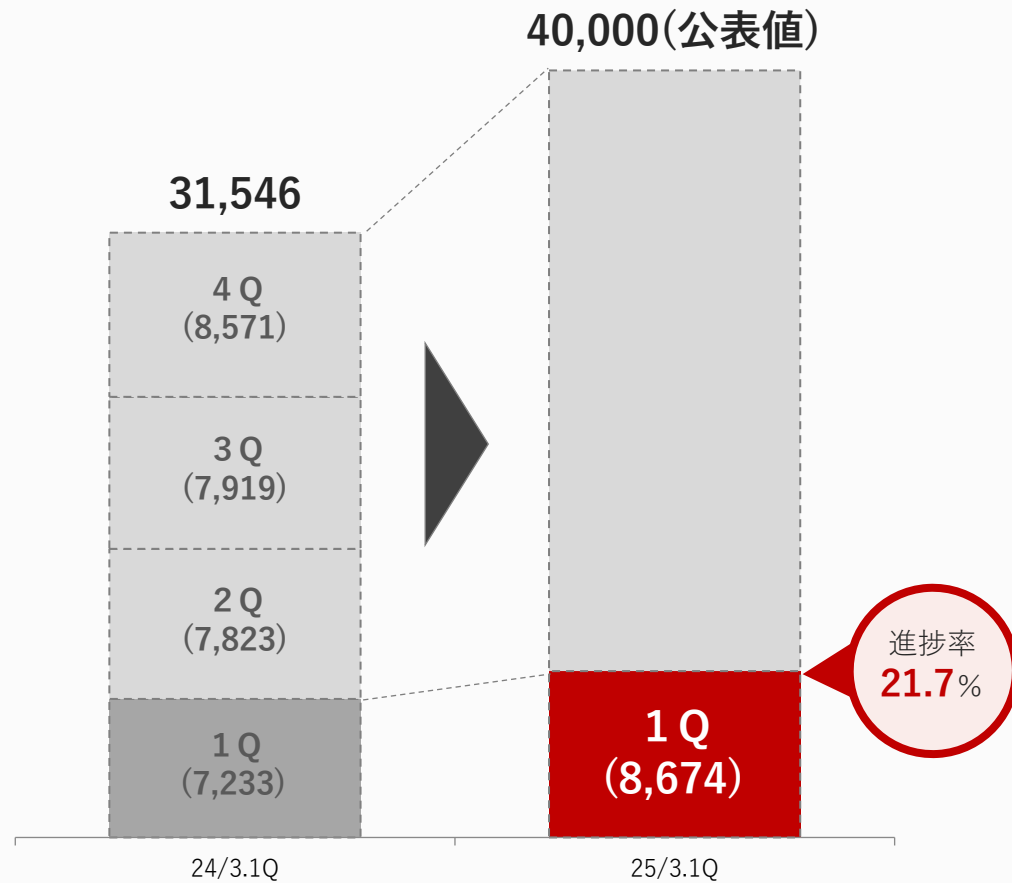
通期業績見通し

(単位：百万円)

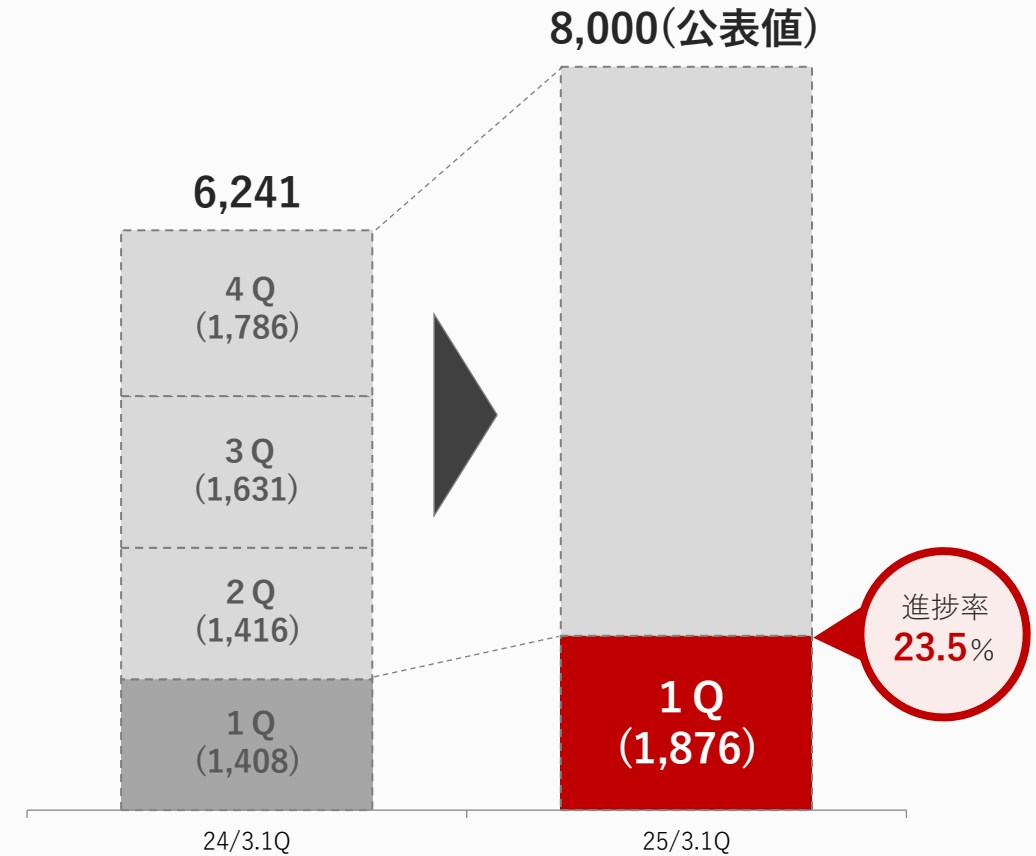


- 営業収益・税引前利益ともに、概ね今期の業績予想通りに推移
- クレジット債権残高、故障保証残高の継続的な**積み上げ**により、四半期毎の業績は**徐々に増加**予定

営業収益



税引前利益



01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

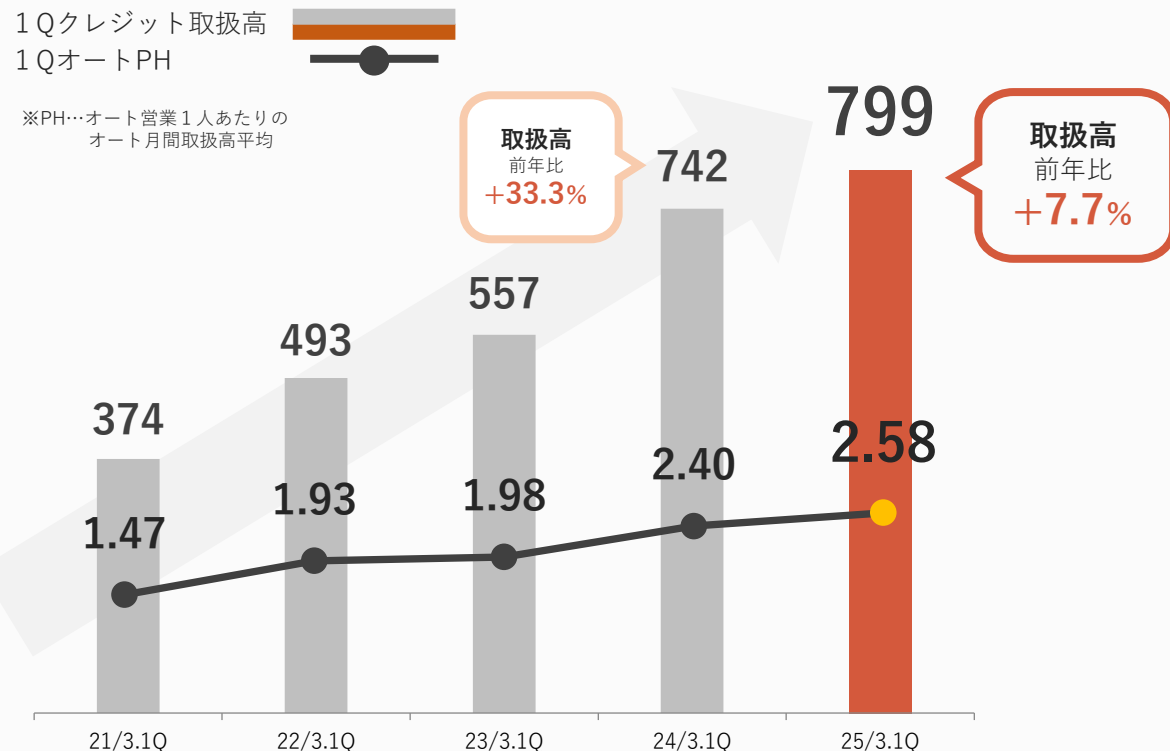
06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

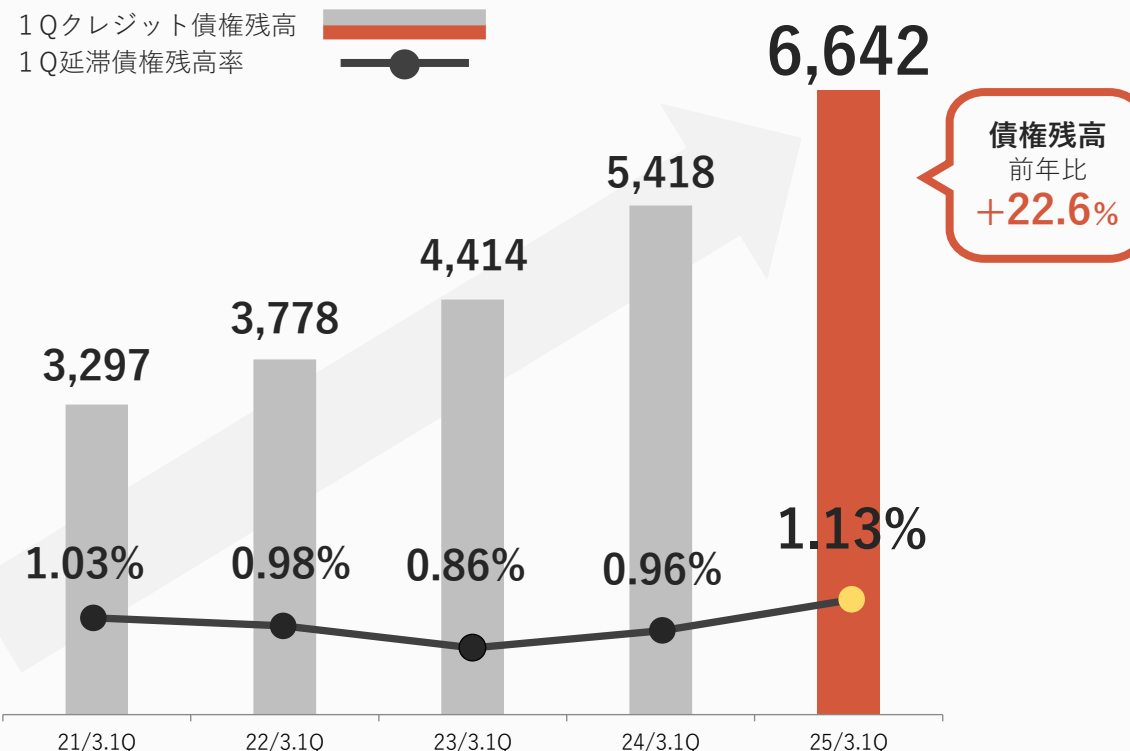
08 Appendix

- ・ コロナ禍が収束した前期 1Qの取扱高**急増**の反動により、取扱高は前年比+7.7%となるが**シェアアップ**路線は堅持
- ・ 前期のクレジット取扱高の**大幅伸長**と今期の伸長により、債権残高については2桁成長（前年比+22.6%）を維持
- ・ 延滞債権残高率が僅かに上昇傾向であるため、引き続き**人員増強・DX施策（オートコール）**・**サービサー子会社との協業**により延滞債権回収を継続的に強化

クレジット取扱高



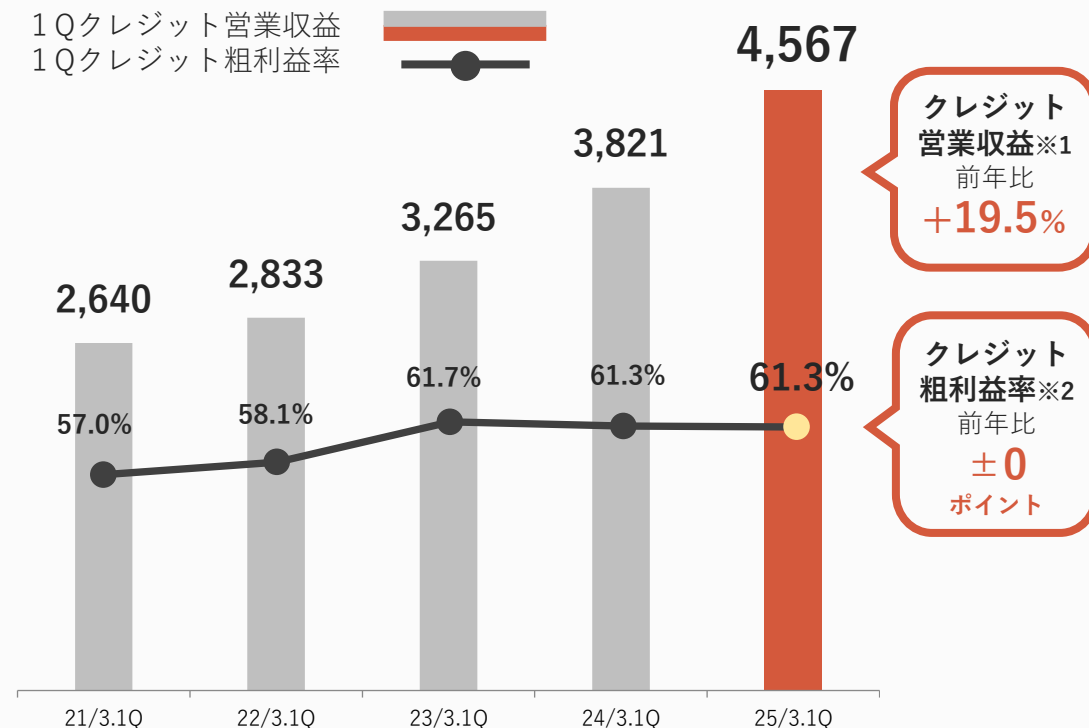
クレジット債権残高



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア株の実績です。
 2. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア株の実績です。
 3. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- 金利上昇トレンドであるものの、顧客金利等への転嫁によりクレジット粗利益率^{※2}は高水準を維持
- クレジット債権残高も前年比+22.6%と伸長した結果、営業収益・営業利益・税引前利益ともに順調に伸長

	24/3.1Q	25/3.1Q	前年比
営業収益	4,032	4,812	+19.3%
営業利益	1,022	1,220	+19.4%
税引前利益	1,054	1,223	+16.0%



(※) 1. クレジット営業収益は、クレジットにかかる営業収益を集計しております。
 2. クレジット粗利益率は、クレジットにかかる営業利益を、クレジットにかかる営業収益で除した実績となっております。
 なお、当該粗利益率算出時の営業費用は、クレジット獲得のために直接発生した費用（金利、保証料、人件費、地代家賃等）となります。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

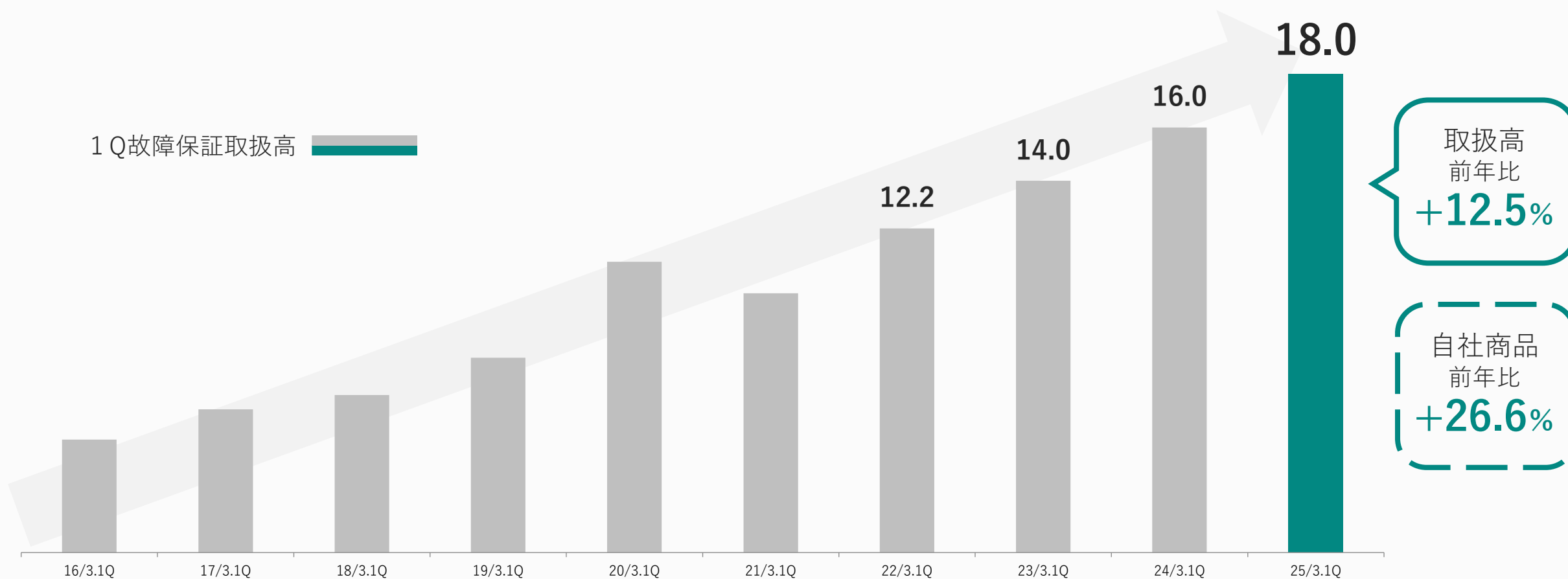
05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

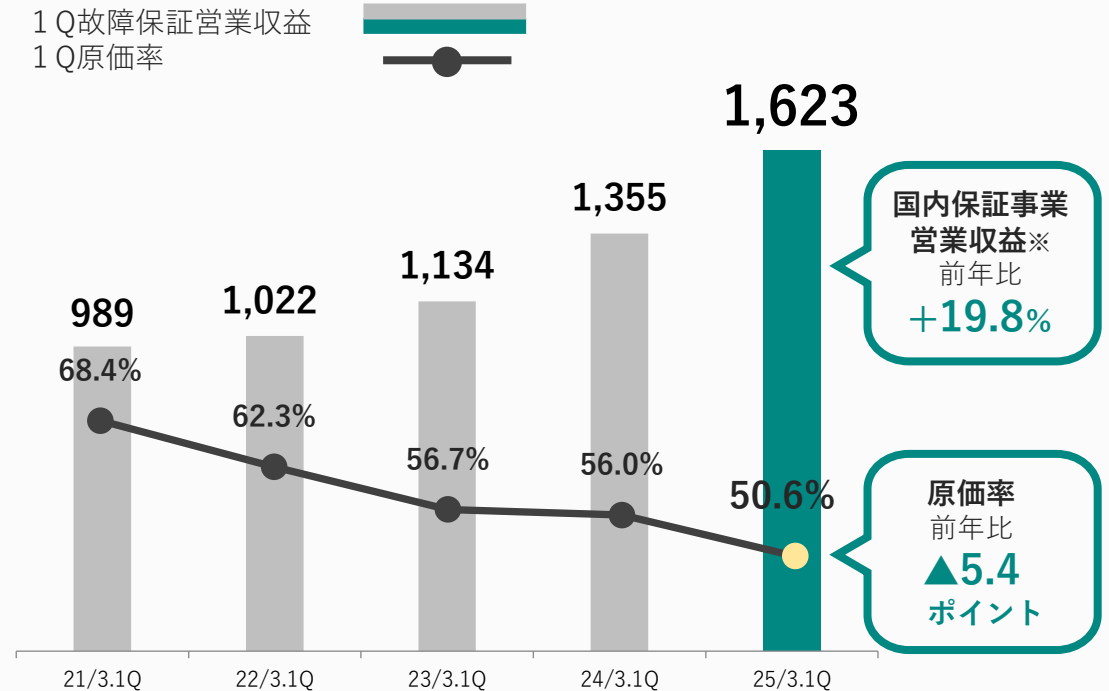
- 中古車市場（台数）が横ばいで推移するも、故障保証の**取扱高**は前年比**+12.5%**
- 故障保証加盟店の**カープレミアクラブ会員化**を積極的に行い、**自社商品**の取扱高増加が全体の成長を牽引



(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額です。
2. 2022年3月期第3四半期に一部商品の取扱高の集計基準の見直しを行い、新基準を適用して記載しております。

- 故障保証加盟店のカープレミアクラブ会員化により、**利益率の高い**自社商品（カープレミア故障保証）が**伸長**
- 自社ネットワーク整備工場への入庫、中古部品の利用増加により継続的な**原価低減**を実現
- 海外の故障保証事業（タイ、インドネシア、フィリピン）についても、取扱高は**2桁成長**

	24/3.1Q	25/3.1Q	前年比
営業収益	1,398	1,673	+19.7%
営業利益	171	312	+82.1%
税引前利益	187	333	+78.5%



(※) 国内保証事業営業収益は、海外の実績を除いております。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

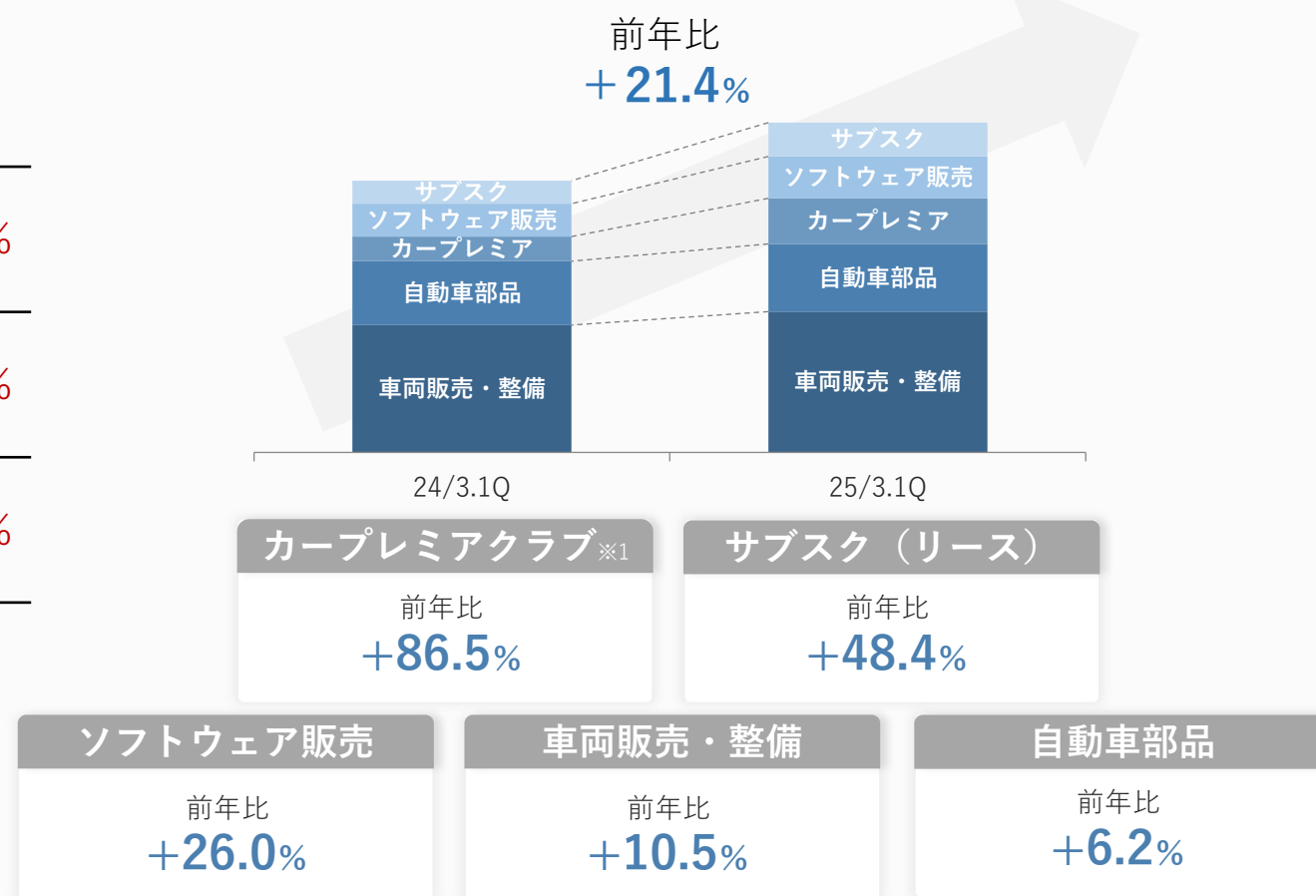
07 その他進捗

08 Appendix

- カープレミアクラブ※の本格展開から**3期目**を迎え、各事業とも順調に業績が伸長し、営業利益は前年比**+69.4%**と好調に推移
- カープレミアクラブ会員向けサービスの拡充、カープレミアブランドの認知拡大（マス広告等）を通じて、今後もオートモビリティサービス事業の拡大を見込む
- 前期に実施したカープレミアクラブ会費の**価格改定**により、今後も安定的に収益を確保

	24/3.1Q	25/3.1Q	前年比
営業収益	1,800	2,186	+21.4%
営業利益	175	297	+69.4%
税引前利益	170	293	+72.3%

オートモビリティサービス事業 営業収益



(※) 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称です。

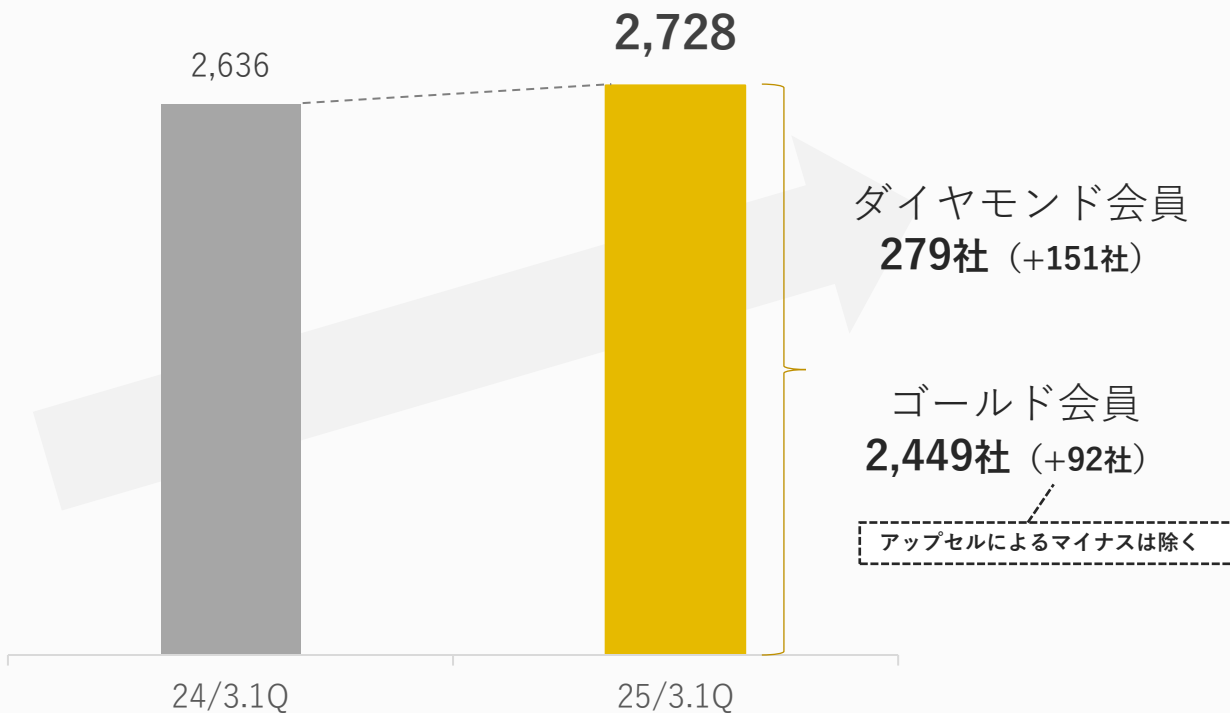
- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ**
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

- カープレミアディーラーは中古車業界不正問題を受け**加盟の厳選化及び再構築**を図り、会員クラス**のアップセル**を中心に展開
- 上位会員であるダイヤモンド会員は**151社**増となり、カープレミアあんしんショップ[※]も全国200社以上の展開を図る
- カープレミアガレージは、故障保証修理時の**優先的な入庫誘導**が奏功し順調に増加

※カープレミアあんしんショップ… P.31を参照

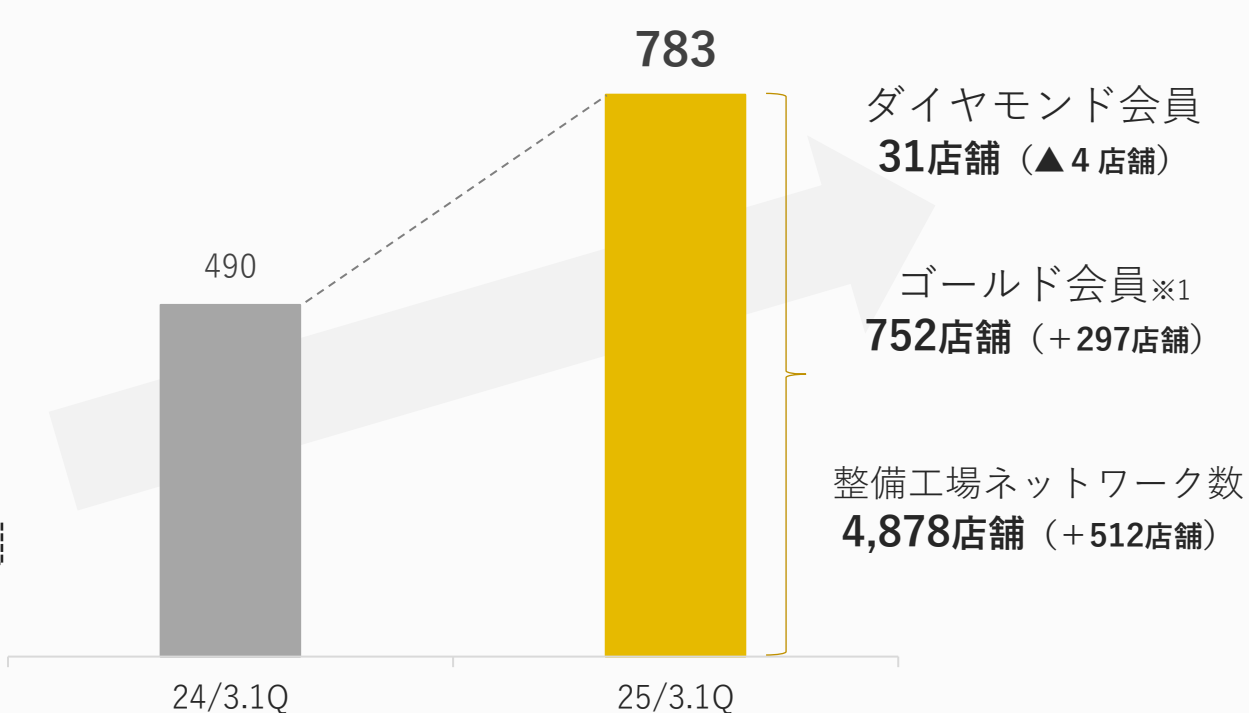
カープレミアディーラー (自動車販売店)

前年比 **+92社**



カープレミアガレージ (自動車整備工場)

前年比 **+293店舗**



(※) 1. シルバー会員は組織改編に伴い、2023年9月末時点で完全廃止をいたしました。

- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗**
- 08 Appendix

中期経営計画進捗（2年目）

※中期経営計画… P.28-29を参照

（グラフ単位：社/店舗）

- 中計初年度は営業収益**315億円**、税引前利益**62億円**と計画を上回る
- 今期も中計を上回る税引前利益**80億円**に向け、好調な滑り出し
- カープミアクラブ※1会員向けのサービス拡充により会員数は今後も増加見込
- マス広告の実施によりカープミアブランドの認知拡大（下記を参照）
- 年内に新基幹システムを刷新。費用は中期経営計画に**織り込み済**

カープミアクラブ会員数

カープミアディーラー 進捗率：54.6%

2,728

2026年3月期目標
5,000社

カープミアガレージ 進捗率：52.2%

783

2026年3月期目標
1,500店舗

トピックス



「カープミア」 新CMを放映

- オリンピック放送枠での放映で、これまで以上に注目度の高いCM
- 新たなイメージキャラクターに就任いただき、より幅広い世代にアプローチ



人権方針の策定

- 当社グループのビジネスにかかわるすべての人の**人権尊重の取り組みを強化**すべく策定
- 階層別の研修、差別・ハラスメントのない環境づくり等様々な取り組みを実施



3年連続 「DX注目企業」に選定

- 約3,800社が対象。当社を含め**21社**が注目企業として選定
- オンライン保証申込サービス「P-Warranty」の提供、「**クルマのことならカープミア**」のコンテンツが評価された



※2

「統合報告書2024」を制作

- 「統合報告書2024」を第2四半期中に開示予定
- ミッションの実現に向けた戦略ストーリーについて、**財務情報**、**非財務情報**の両面から、より理解を深めていただくために今年も作成

(※) 1. 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープミアディーラー」と自動車整備工場向け会員組織「カープミアガレージ」の総称です。
2. 参考画像として「統合報告書2023年」の表紙を掲載しております。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,470,570株 2024年6月末時点
資本金	1,680百万円 単体 / 2024年6月末時点
従業員数	796名 連結 / 2024年6月末時点（※）臨時雇用者を除くグループ従業員数
主な株主	Capital Research and Management Company : 5.83% 野村證券（野村アセットマネジメント、ノムラインターナショナル） : 5.23% (2024年3月7日時点 大量保有報告書等を参照)
グループ内容	国内及び海外※における各事業 ・カープレミア(自動車販売店、自動車整備工場の会員組織構築) ・ファイナンス事業 ・故障保証事業 ・オートモビリティサービス事業 ※海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）

事業内容

- プレミアグループは、自動車販売店や自動車整備工場の皆さまと一緒にお客様に豊かなカーライフを届けるオートモビリティ企業です

事業セグメント

ファイナンス事業

主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

主な取引先

- ・自動車販売店

故障保証事業

主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開
(タイ、インドネシア、フィリピン)

主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

オートモビリティサービス事業

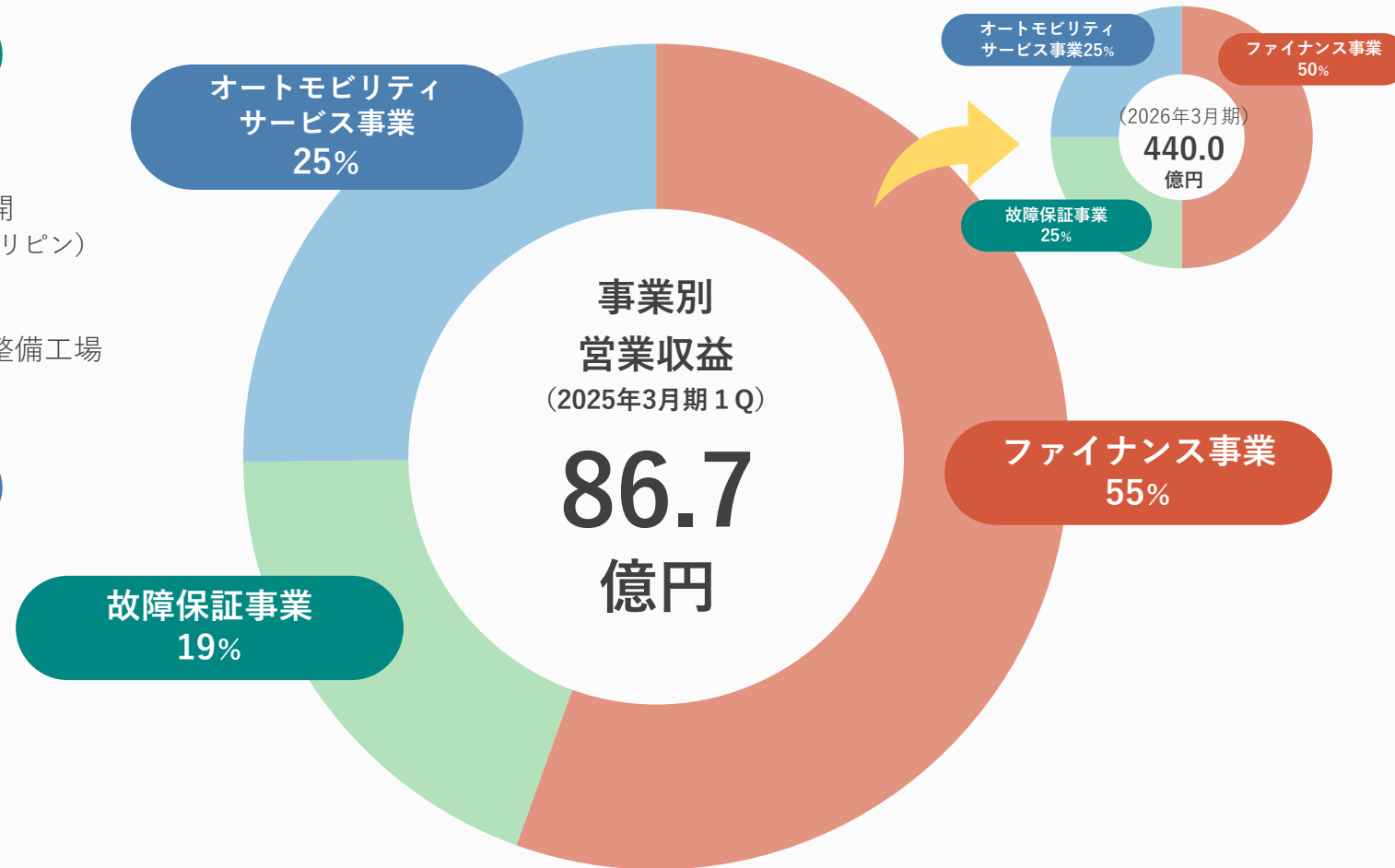
主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・オートリース
- ・自動車整備工場の運営
- ・国内外への中古パーツ販売

主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

セグメント別ポートフォリオ

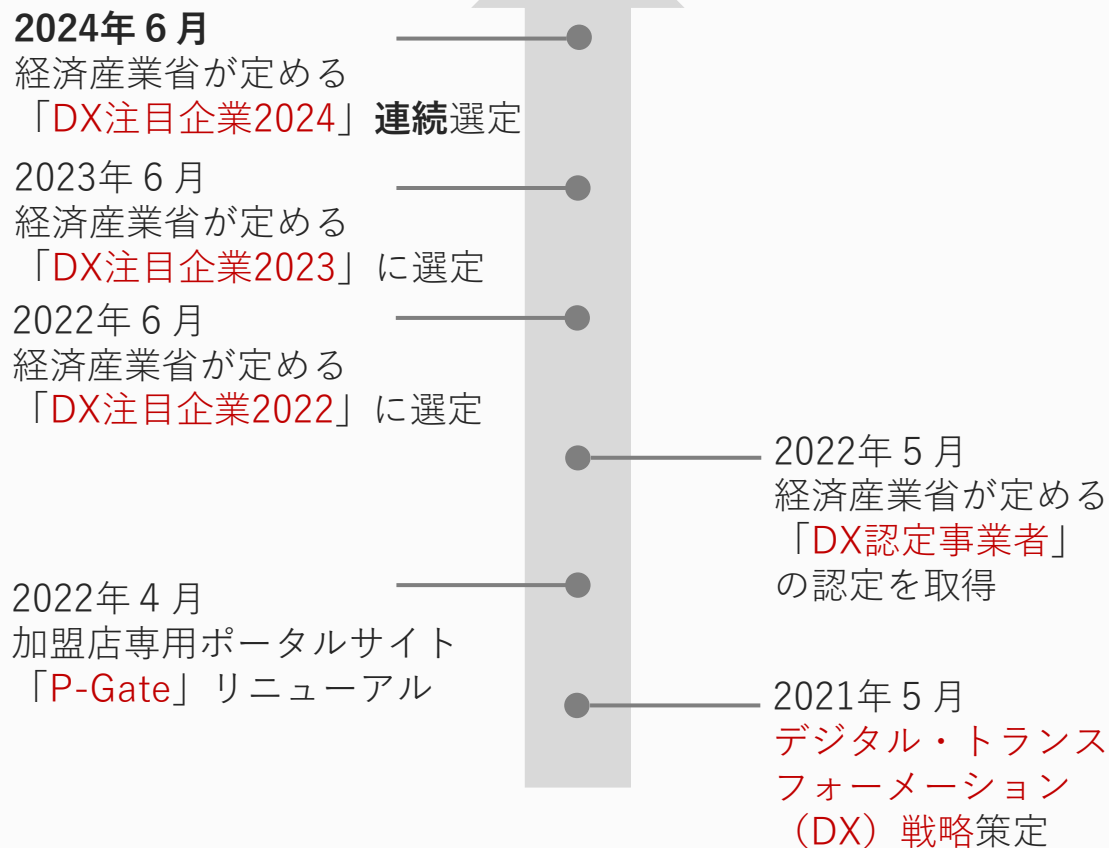


当社のDX戦略



- DX戦略の策定から約1年で社内外のDX施策の基盤を構築し、2022年「DX認定事業者」の認定、3年連続で「DX注目企業」を取得
- エンドユーザーとモビリティ事業者を繋ぐ、プラットフォーム構想の実現を目指す

DXビジョンの達成



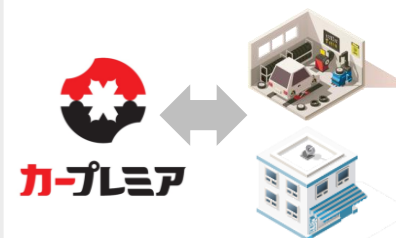
エンドユーザー向けDX



2022年7月22日に
お客様向けサイトがオープン

- ▼サイトでは…
- 当社が提供する様々なサービスからクルマの乗り方をご提案
 - 充実したアフターサポート

モビリティ事業者向けDX



モビリティ事業者向け
ポータルサイトのログイン率

※2024年6月末時点

- 加盟店全体：71.2%
- カープレミアディーラー：99.4%

→販売店との
コミュニケーションツールとして機能

2025年3月期 セグメントについて



- 故障保証事業傘下であったプレミアオートパーツ(株)をオートモビリティサービス事業傘下に移設
- オートモビリティサービス事業傘下であったC I F U T (株)をファイナンス事業に移設
- 引き続きカープレミア事業モデルをもとに、更なるグループ間シナジーの創出を目指す



ファイナンス事業

プレミア(株)
オートクレジットを中心としたファイナンス事業の運営・統括

- 中央債権回収(株)**
債権回収, 車輛引揚事業
- Eastern Commercial Leasing p.l.c.** *
オートクレジット, 故障保証事(タイ証券取引所上場)
- C I F U T (株)** *
自動車関連IoT装置の開発・提供

故障保証事業

プレミアワランティサービス(株)
故障保証事業の運営・統括

- Premium Service (Thailand) Co.,Ltd**
タイにおける自動車整備、故障保証事業
- PT Premium Garansi Indonesia** *
インドネシアにおける故障保証事業
- Premium Warranty Services Philippines, Inc.** *
フィリピンにおける故障保証事業
- プレミアオートパーツ(株)** (ダッシュボックス内)

オートモビリティサービス事業

プレミアモビリティサービス(株)
オートモビリティサービス事業の運営・統括

- PLS(株)**
個人向けオートリース事業
- プレミアソフトプランナー(株)**
事業者向けソフトウェア開発, 販売事業
- プレミアオートパーツ(株)**
オートパーツ関連事業
- カープレミア(株)**
モビリティ事業者向け会員組織の開拓・運営
- PAS(株)**
自動車整備事業、钣金・塗装事業
- C I F U T (株)** * (ダッシュボックス内)



(注) 「*」は関連会社を表しております。

セグメント別業績

(単位：百万円)



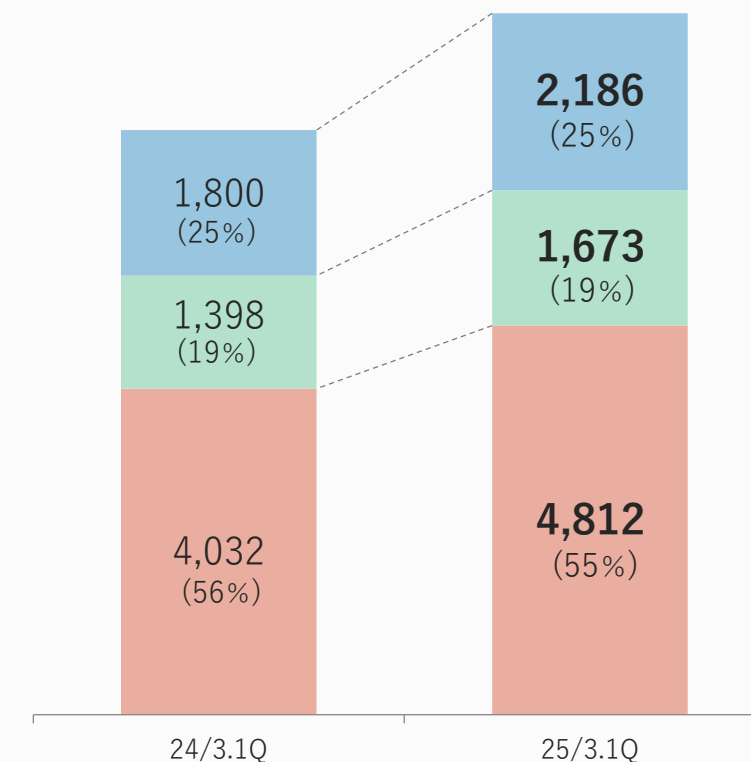
- 各事業が**順調に伸長**した結果、**営業収益・税引前利益**はいずれも前年より**増加**
- 営業収益のうち、**オートモビリティサービス事業**が占める割合が**増加**

2025年3月期1Q

	営業収益	営業利益	税引前利益
ファイナンス事業	4,812 前年比 +19.3%	1,220 前年比 +19.4%	1,223 前年比 +16.0%
故障保証事業	1,673 前年比 +19.7%	312 前年比 +82.1%	333 前年比 +78.5%
オートモビリティサービス事業	2,186 前年比 +21.4%	297 前年比 +69.4%	293 前年比 +72.3%

営業収益

■ ファイナンス ■ 故障保証 ■ オートモビリティサービス



(注) 当期よりセグメント区分を変更したため、前期のセグメント別損益は、実務上可能な範囲でのみ反映しております。

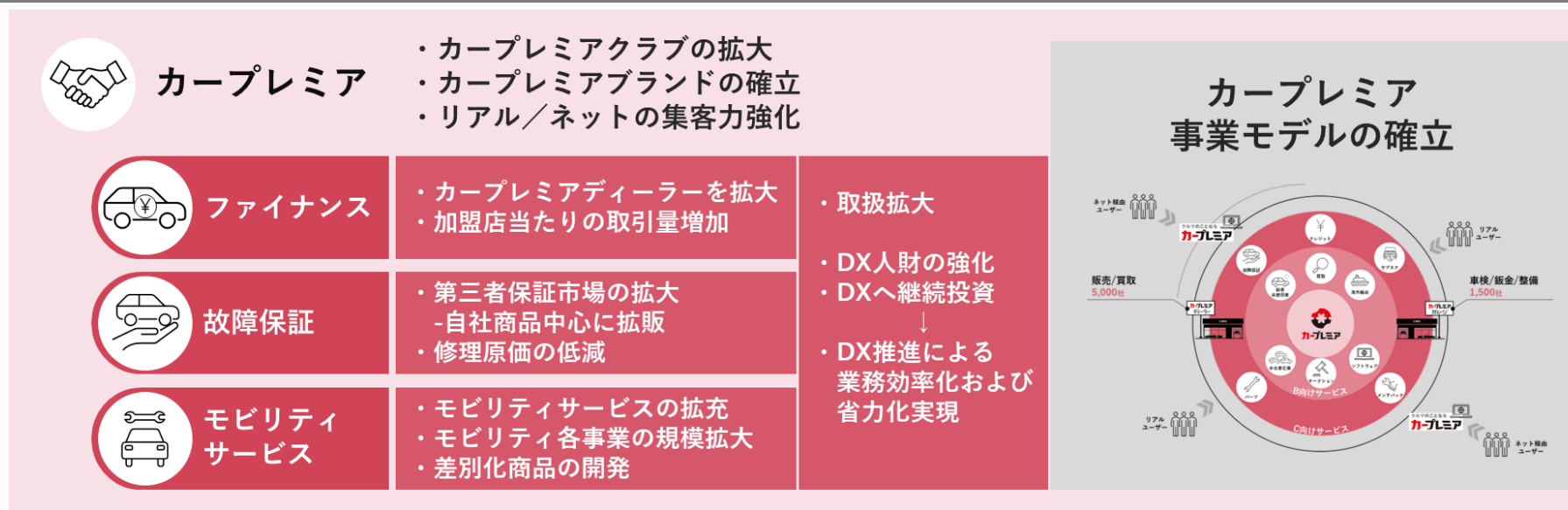
中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、
カープレミア事業モデルの確立

数値目標 (2026年3月期)

営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
440億円 23/3比 +74.6%	102億円 23/3比 +91.0%	70億円 23/3比 +75.0%	30%台 23/3実績 34.7%	1,400~1,750億円 23/3比 204~255%

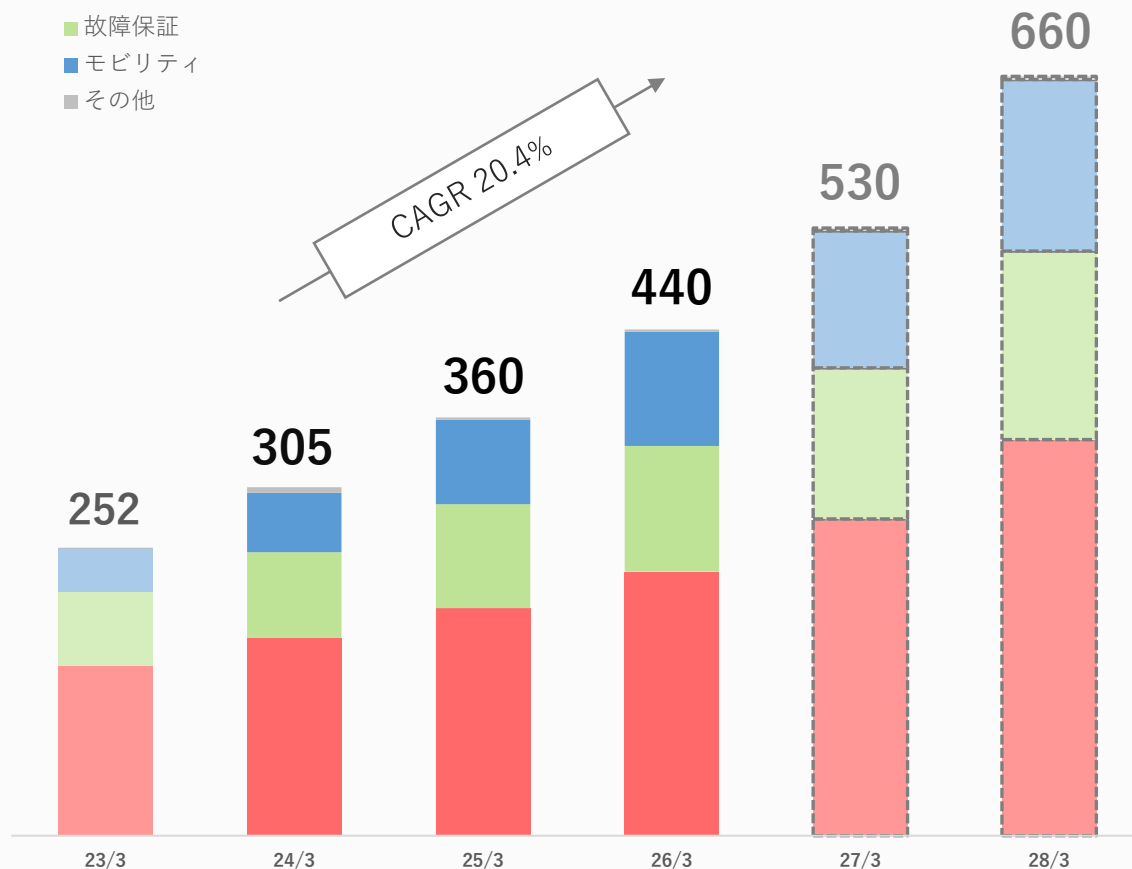
重要課題



営業収益

(億円)

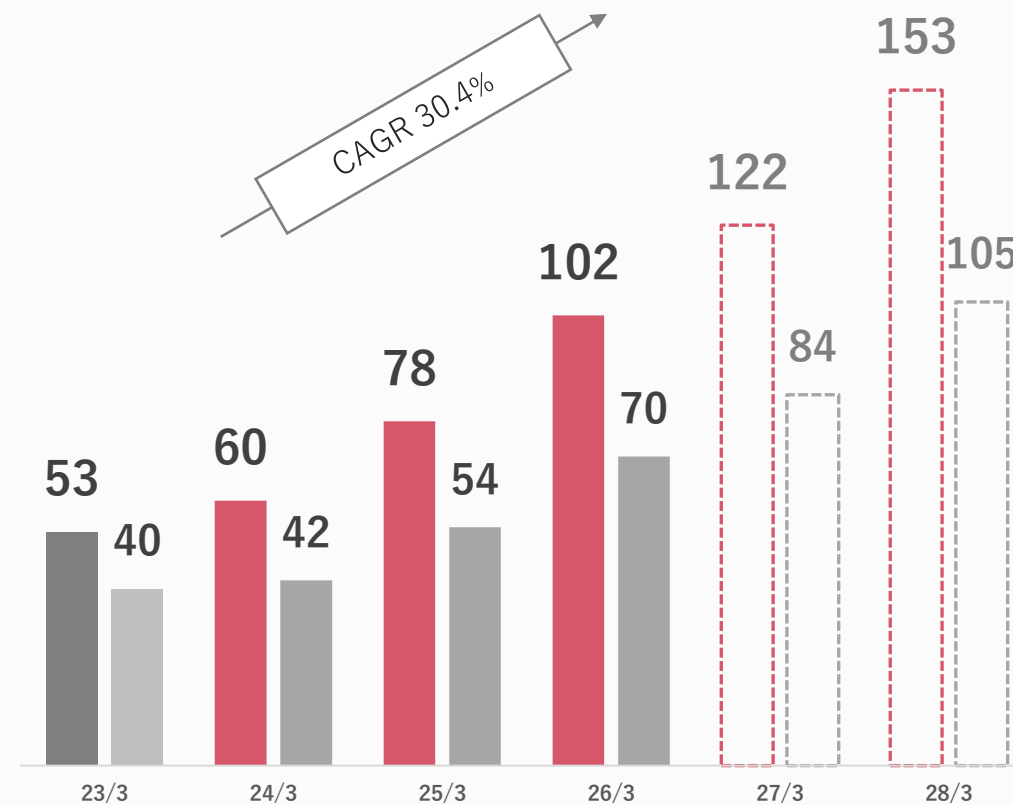
- ファイナンス
- 故障保証
- モビリティ
- その他



税引前利益 / 当期利益

(億円)

- 税引前利益
- 親会社の所有者に帰属する当期利益



(23/3 3Q)外部環境の変化に対する当社の対応

- 為替変動については、外貨建取引が極めて僅少
- **金利上昇**、**インフレ**については機動的に対応



業績への影響は**殆どなし**

① 為替変動



外貨建取引は**僅少**
→影響は**殆どなし**

② インフレ・物価高



機動的に手数料・
商品価格を**改定**
→影響は**殆どなし**

③ 金利上昇

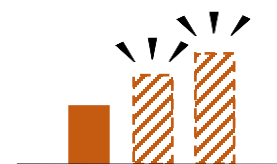
オートローン調達金利

> **契約済**の債権



貸出・調達ともに
固定金利
→影響なし

> **新規**に契約する債権



機動的に金利等に**転嫁**
→影響は**殆どなし**

財務戦略



- **固定金利**での調達割合を増加
- 資金調達手段の**多様化**を推進
(債権流動化・社債・CP等)



更に**低利・安定的な**
資金調達を実現

(24/3 3Q)カーププレミアあんしんショップ制度をリリース



- お客様が安心して商品やサービスを受けられる制度「カーププレミアあんしんショップ」を2024年1月29日より開始

カーププレミアあんしんショップとは

全てのお客様がお取引内容を理解・納得いただけるよう「あんしん宣言」を掲げサービス提供するお店

- ✓ 当社の基準をクリア
- ✓ あんしん宣言／規約同意
- ✓ カーププレミア点検の実施

カーププレミア
あんしんショップ

- ✓ あんしんサービスの提供
- ✓ カーププレミアサイトで上位表示

カーププレミアクラブ

ダイヤモンド会員

カーププレミアクラブ

ゴールド会員

あんしん宣言・サービス内容



車両購入のあんしん宣言



車両整備のあんしん宣言



購入・作業内容を十分理解し、納得できるよう正確で詳細な説明を実施します



透明性のある作業実施の為に内容及び費用を記載した書面を提供します



安心して乗れるようカーププレミアで点検を実施し、納車します

車両購入後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

車両整備後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

カープレミアディーラー
オートクレジット割合※1

前年比

▲0.2ポイント

41.9%

有料会員の増加により
今後は継続的に増加予定

営業人員数

前年比

±0名

103名

営業人員PH※2の増加に注力し、
(仕組化や営業活動の効率化)
大幅な増員は予定せず

AI審査判定率

前年比

▲2.1ポイント

37.2%

審査の精度をさらに向上させ
審査時間の削減や判定の標準化を促進

(※) 1. 当社取扱いのオートクレジット取扱高のうち、自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」が占める割合です。
2. PH (パーヘッド) とはオート営業1人あたりのオート月間取扱高平均です。

	24/3.1Q (2023年6月30日)	24/3 (2024年3月31日)	25/3.1Q (2024年6月30日)	前年同期比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	12,792	21,150	18,267	+42.8%	△13.6%
金融債権	48,233	56,419	58,494	+21.3%	+3.7%
その他の金融資産	6,522	7,524	8,067	+23.7%	+7.2%
有形固定資産	2,961	2,837	3,423	+15.6%	+20.7%
無形資産	8,317	8,914	9,052	+8.8%	+1.6%
のれん	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	2,716	3,173	3,210	+18.2%	+1.2%
繰延税金資産	81	14	6	△92.4%	△54.6%
保険資産	5,529	6,893	8,113	+46.7%	+17.7%
その他の資産	12,619	14,393	14,336	+13.6%	△0.4%
資産合計	103,728	125,274	126,926	+22.4%	+1.3%
負債の部					
金融保証契約	39,468	45,726	47,443	+20.2%	+3.8%
故障保証前受収益	6,355	7,184	7,509	+18.2%	+4.5%
借入金	31,740	42,333	41,969	+32.2%	△0.9%
その他の金融負債	6,854	8,063	7,968	+16.3%	△1.2%
引当金	364	383	393	+8.1%	+2.6%
未払法人所得税	350	1,164	476	+35.8%	△59.2%
繰延税金負債	1,489	1,236	1,367	△8.2%	+10.6%
その他の負債	2,957	3,835	3,654	+23.6%	△4.7%
負債合計	89,577	109,923	110,778	+23.7%	+0.8%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,700	1,700	+0.0%	+0.0%
資本剰余金	1,455	1,534	1,559	+7.1%	+1.6%
利益剰余金	11,596	14,626	15,331	+32.2%	+4.8%
自己株式	△ 1,088	△ 3,109	△ 3,109	+185.7%	+0.0%
その他の資本の構成要素	454	559	619	+36.4%	+10.8%
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,117	15,310	16,100	+14.1%	+5.2%
非支配持分	35	40	48	+39.8%	+19.5%
資本合計	14,151	15,351	16,149	+14.1%	+5.2%
負債及び資本合計	103,728	125,274	126,926	+22.4%	+1.3%

連結会計期間	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.4Q (2024年1月1日～ 2024年3月31日)	25/3.1Q (2024年4月1日～ 2024年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	7,233	8,571	8,674	+19.9%	+1.2%
営業費用	5,868	6,784	6,852	+16.8%	+1.0%
営業利益	1,365	1,787	1,823	+33.6%	+2.0%
持分法による投資利益	60	7	17	△71.3%	+160.8%
その他の金融収益	4	6	45	+1164.2%	+626.6%
その他金融費用	20	13	8	△60.6%	△40.0%
税引前当期（四半期）利益	1,408	1,786	1,876	+33.3%	+5.1%
法人所得税費用	332	381	600	+80.6%	+57.7%
当期（四半期）利益	1,075	1,405	1,276	+18.7%	△9.2%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,072	1,404	1,274	+18.9%	△9.3%
非支配持分に帰属する利益	4	1	2	△35.6%	+182.6%

PL (営業収益・営業費用)

(単位：百万円)



連結会計期間	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.4Q (2024年1月1日～ 2024年3月31日)	25/3.1Q (2024年4月1日～ 2024年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	3,495	3,968	4,145	+18.6%	+4.5%
故障保証関連収益	1,387	1,581	1,646	+18.7%	+4.2%
オートモビリティ関連売上	1,207	1,348	1,493	+23.7%	+10.8%
その他手数料売上	605	693	725	+19.9%	+4.7%
部品売上	422	443	447	+6.1%	+0.9%
金融資産の減損利得	70	349	147	+111.6%	△57.7%
保険履行収益	-	153	-	-	-
その他	48	36	70	+45.3%	+92.2%
合計	7,233	8,571	8,674	+19.9%	+1.2%

連結会計期間	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	24/3.4Q (2024年1月1日～ 2024年3月31日)	25/3.1Q (2024年4月1日～ 2024年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	68	108	111	+64.3%	+3.2%
故障保証関連原価	822	815	886	+7.8%	+8.7%
オートモビリティ関連原価	779	795	816	+4.7%	+2.7%
支払保証料	729	847	908	+24.6%	+7.2%
部品原価	305	362	340	+11.5%	△6.2%
従業員給付費用	1,356	1,466	1,594	+17.6%	+8.8%
減価償却費及び償却費	367	487	453	+23.6%	△6.9%
支払手数料	303	351	342	+13.1%	△2.6%
租税公課	238	235	257	+8.3%	+9.7%
システム運営費	230	243	243	+5.7%	+0.3%
業務委託料	187	213	202	+8.1%	△5.2%
その他営業費用	486	863	698	+43.5%	△19.1%
合計	5,868	6,784	6,852	+16.8%	+1.0%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。